あかれんが

複十字病院
FUKUJUJI HOSPITAL
Japan Anti-Tuberculosis Association

〒204-8522 清瀬市松山3-1-24
TEL：042-491-4111
http://www.fukujuji.org

発行責任者 院長 大 田 健

今月のトピック

内視鏡センター新設のおしらせ

内視鏡センター長 **小山 英俊**

このたび消化器科と呼吸器科がそれぞれ行っていた内視鏡部門を内視鏡センターとして新設することとなりました。

昨年度はコロナ禍の影響でやや件数が減りましたが約4,800件の内視鏡による検査、治療が行われました。

消化器科では上部および下部消化管内視鏡を用いて食道、胃、十二指腸、大腸の検診や精密検査を行ったり、大腸ポリープや早期胃癌、早期大腸癌に対して内視鏡的治療などを行っております。また、消化管出血に対する内視鏡的止血、誤飲した異物の摘出、アニサキスの除去、黄疸に対する減黄、総胆管結石の除去、大腸癌による腸閉塞に対する経肛門的ステント挿入などの緊急処置も行っております。

呼吸器科では気管支鏡による呼吸器疾患の診断やステント、EWS、喀血に対する止血処置などの治療を行っております。

当センターでは、癌などの病気の早期発見、的確な診断に努めるとともに、内視鏡を用いた治療により、地域の皆様の健康維持に貢献することを目指しています。スタッフ一同が協力し、質の高い内視鏡検査を提供できるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。

検診で異常を指摘されたり、何か症状でお困りで内視鏡検査をご希望の方は是非当院への受診の検討を宜しくお願い致します。

工藤理事長より写真を贈呈して頂きました。

当院でコロナ対策を行ってから、かれこれ二年に到達しそうです。入り口で体温を測り手指消毒、エッセンシャルワーカーの皆さんも患者さんも大変お疲れだと思います。そんな折工藤理事長より皆さんの心の癒しになればと写真を贈呈して頂きました。本館エレベーター正面右脇に、展示してあります。工藤理事長の同窓生で数々の賞を受賞しております、写真家の方が撮影した作品です。詳しくは写真横に展示してありますので御覧下さい。まるで絵画と見間違えるほど美しく宵闇にダリアがたゆたっています。鑑賞していると写真の中に引き込まれそうです。是非、お時間のある時にご鑑賞下さい。

（文責　美術部員）

乳腺センター 開設15周年展示のご案内

当院の乳腺センターは開設から2019年10月で15年となりました。開設当初の乳腺科から現在の乳腺センターに至る歴史を振り返り、新外来棟渡り廊下で展示を行っています。

新入職員の声

検査科　清水　保乃佳

私が臨床検査技師として複十字病院に入職させていただいてから約２ヶ月が経ちました。現在は血液検査、免疫検査、輸血検査に関わっています。まだまだ分からないことがあり反省することも多いですが、毎日先輩方に支えられ、少しずつですが成長を感じています。医師や看護師の方々など他職種との連携も多く、優しい先輩方や職場の環境にも恵まれ、複十字病院の理念でもある「質の高い、温かな医療」を感じました。

また、現在コロナ禍により先輩方や他職種の同期とも交流が少なく寂しい気持ちもありますが、早く一人前の臨床検査技師となり、一人の社会人としても成長することで、仕事を通じて信頼関係を築いていこうと決心しています。

放射線科　黒田　絵瑚

４月から放射線技術科に配属しました、黒田絵瑚です。三重県出身なので、これから大都会の東京での生活にとてもワクワクしています。

当院に就職した理由は、病院見学の際に、放射線技術科の宇津木科長が母校の一期生ということを知り、科長の下で働きたいと強く思ったからです。

大学を卒業し、診療放射線技師となり数ヶ月、失敗も沢山ありますが、落ち込んだ時に励ましてくれる同期、温かく見守りアドバイスをしてくださる先輩方に支えていただきながら日々の業務に取り組んでいます。

今後は、多くの職員の方々と関わりながら立派な診療放射線技師になれるよう、『ポスト宇津木科長』を目指して頑張ります。これからよろしくお願いします。

庶務課　松田　源太

４月から複十字病院庶務課に配属になりました松田源太です。

私は学生時代に受けたハンセン病の講義に興味を持ち、同じ抗酸菌である結核予防のスペシャリストである結核予防会、複十字病院に強い興味を持ちました。

晴れて採用となった今では先輩方や部署内外の人に助けられ、半人前ながらも日々鋭意庶務業務に取り組んでいます。

中でも今、複十字病院はワクチン接種業務に注力しています。日々状況が変わっていく中で我々にできることを複十字一体となって精一杯取り組む姿を間近で拝見し、医療の重要性と尊さを改めて感じる機会となりました。

私も早く一人前となり先輩方に追いつき、複十字を支える存在になりたいと思います。

2S病棟　看護師　鎌田　純

４月に入職した鎌田純です。

近年高齢化により誤嚥性肺炎やCOPDなどの呼吸器疾患の患者さんが多く見られるようになり、呼吸器について勉強したいと思い入職しました。

配属病棟は新型コロナ肺炎専用病棟です。コロナ病棟に配属と聞き、正直感染するのではないか、家族に感染してしまったらと不安でした。しかし、今は患者さんの苦しむ姿に触れ、「家族に会いたい」という訴えを聞き、自分ができることは患者さんの苦しみや不安の緩和だと考え、不安感より使命感が勝るようになりました。

病棟は感染予防が徹底されており、職員はいつも笑顔が絶えず、楽しんで勤務をしています。

これからも複十字病院の一員として頑張ります。よろしくお願いします。

薬剤部病棟業務科　小津　吉泰

薬剤部病棟業務科に入職しました小津吉泰と申します。働きはじめて約２か月経ち、想像していた以上に立ち仕事が多く５キロほど体重が減ったことに自分でも驚いています。しかし、業務だけでなく体調変化などにも気にかけて下さる先輩方に支えられて「この職場で働けて良かった」と感じています。

現在は主に調剤室と注射室で調剤を行っています。安全な薬物治療を患者さんに提供できるよう日々学習に励んでいます。最近は徐々に業務の幅が広がり、より一層薬剤師としての自覚が強くなりました。

今後も様々な業務に取り組んでいき、医師や看護師など他職種の方々、そして患者さんに信頼されるような薬剤師を目指して頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

院内展示物のご紹介

清瀬焼

院内の中央館から新館へ続く通路の一角に「清瀬焼陶芸会」の作品を展示していただいています。展示をお願いしてから2年ほど経ちますが、定期的に展示作品の入れ替えを行っていただき、通るたびに目を楽しませていただいています。「清瀬焼陶芸会」についてはあかれんが第130号で会の活動を紹介していただきました。初めて展示を見た時、日常の食卓に使いたくなるような食器から、可愛らしい動物のオブジェまでが並び、その多様で自由な発想の作品に魅了されました。中には実際に清瀬の土で作られた作品も展示されています。ほんの一部ですが、これまで展示していただいた作品を写真でご紹介させていただきます。

展示風景

魚料理をのせてみたい、魚の形のお皿

幻想的な美しい模様の器

清瀬の土で作られた作品

日常で使いたくなるような器

可愛らしい動物たち

今年の干支でもある牛

複十字病院は
✝公益財団法人結核予防会の病院です

予約・紹介のご案内

■ **受付時間**
平日 8:30～17:00　　土曜日 8:30～12:00

■ **医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約**
電話 042-491-9128
FAX 042-491-3553

■ **再診・初診（紹介状なし）のご予約**
電話 042-491-6228

複十字病院
〒204-8522　東京都清瀬市松山3-1-24
代表電話 042-491-4111
代表FAX 042-492-4765

交通のご案内

■ **電車でお越しの方**
・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分
　または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車
・JR中央線　武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車
　バス停より徒歩5分

■ **お車でお越しの方**
・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり　西に300メートル
・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル